



☕ berry cafe

小田原城付近でのんびり過ごされたい方にお薦めの「おいしいコーヒーとフレンチトーストのお店」です。白を基調にした明るい店内は清潔感あふれ、観葉植物の緑がつかの間のくつろぎを与えてくれます。気さくな店主との会話も旅の思い出にしてみたいいかがでしょうか？(I)
☎ 小田原市本町1-6-19 ☎ 0465-20-3944 9:00～18:00 ㊿毎週水曜日



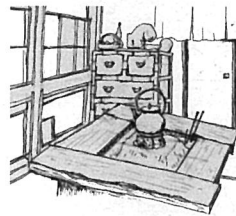
☕ cafe mint cocoa

何種類ものお惣菜を楽しめる「おばんざい定食」(11:00～14:00のみ)は、「素材は何だろう？」と想像する楽しみをかきたててくれます。軽食はテイクアウトできるので食べ物片手に街歩きもできます。(I)
☎ 小田原市本町2-10-16 ☎ 090-2910-6695
月～木7:00～18:00、金土10:00～20:00 ㊿毎週日曜日



☕ ZAKKA&CAFE Nana

ディスプレイした洋服やアクセサリーなどの話をしながらショッピングの一時をコーヒーで憩う、小田原には珍しいタイプのお店です。イラストレーターでもある店主が、ペットの写真からイラストを描くサービスも提供しています(有料)。写真とはひと味違った思い出の品となるでしょう。(I)
☎ 小田原市浜町3-1-32 11:00～17:00 ㊿毎週日曜日、祝日



☕ 茶房華心(お茶処)

ほっこり和む和テイスト溢れる落ち着いた“おうち”お茶処。なんと畳の和室である。のんびり坪庭を眺め、いただく一服の抹茶。店主手作りの和菓子には、花を挿した箸置き。仲の良い「親戚のおうち」と思ってくつろいでください、と店主。くつろぎの時間をゆるりとどうぞ。(T)
☎ 小田原市本町1-9-55 ☎ 0465-22-1420 10:30～17:00 ㊿毎週水曜日・木曜日



☕ 甘味喫茶 岡西

創業昭和22年。「小田原名物ジャンボおはぎ」のお店です。店頭でおはぎの販売もしていますので、おみやげや今宵の宿でのひとときどうぞ。(I)
☎ 小田原市栄町2-9-15 ☎ 0465-22-4067 10:30～18:30 (喫茶12:00～18:30)
㊿毎週木曜日(祭日除く)



🍵 あおいや(あられ・おかき)

花街の残り香漂う昭和レトロのあられ店。この宮小路界限は、かつての花街。今もお茶請けに最適なあられや煎餅は、かつては料亭や寿司屋の客が好んで求めたお土産品でした。店主が全国の工場から集めたあられ類は300種。ブランド菓子ではないが、小田原人御用達のプチぜいたくな味、昭和を感じるのは私ひとりではないかも。(T)
☎ 小田原市本町2-11-2 ☎ 0465-22-4803 9:00～19:00 ㊿毎週日曜日



🍵 煎豆屋(豆菓子)

神奈川の落花生産地・秦野直送の落花生を商う豆菓子屋さん。小田原で開業しておよそ40年。「おのろけ豆」は元祖で、味付けや彩を変えた楽しい豆菓子が揃う。(T)
☎ 小田原市本町1-9-55 ☎ 0465-22-2825 10:00～18:00 ㊿毎週水曜日



🍵 伊勢屋(和菓子)

「豆大福」と言えば伊勢屋さん。創業昭和10年。餡のレシピは創業当時と変わらぬ和菓子の老舗。横須賀で修行を積んだ先代が漁師さんを相手に開業。毎日、ひとつひとつ手で包む温かさ。地元小田原産の梅やレモンを使った新商品も。
☎ 小田原市本町3-6-22 ☎ 0465-22-3387 9:00-17:00 ㊿毎週木曜日



☐ 柳屋ベーカリー

大正10年創業の老舗パン屋さん。山あり谷ありの物語を味わう。箱根に駐留するドイツ軍の人々にドイツ軍直伝のパンを製造し、お届けしていた。平成4年頃に販売を開始した「うす皮あんぱん」は今でこそ人気商品であるが、給食用パンの商いもやめ、さびれていく商店街に活力を呼び戻したいという店主の思いから生まれた。苦勞のなかから生まれ、大きく育ったあんぱんである。(T)
☎ 小田原市南町1-3-7 ☎ 0465-22-2342 9:30-16:00 ㊿毎週日曜日



☐ Les Rois

10年ほど前にオープンしたパン屋さん。棚には、独創的なパンが並んでおり、普通の職人がやらないような製法で作ります。「常によりおいしくできるよう考え続け いろいろ作り方に工夫を取り入れてきた。これからもこの姿勢は変わらないでしょうね。」と、店主のパン作りに対する思いが伝わってきます。(I)
☎ 小田原市本町4-4-20 ☎ 0465-24-6469 8:00～18:30 ㊿毎週月曜日、第4日曜日



wara no bag(ドライフルーツ屋)

波照間島の純黒糖であえたナッツと厳選ドライフルーツのお店です。黒糖は刈り取ったサトウキビを24時間以内に製糖工場で生産したものを、使うなど素材にこだわっています。(I)
☎ 小田原市本町2-5-14 ☎ 0465-25-1043 11:00～17:00 ㊿毎週水曜日



だるま料理店(飲食店)

創業明治26年。関東大震災で建物が倒壊したものの、網元だった二代目が大正15年に再建しました。松、けやき、ひのき等を用いた「唐破風入母屋造り」の重厚な風格のある建物は国登録有形文化財に指定されており、唐破風(入口部分)の美しさは通りからでも眺めることができます。(I)
☎ 小田原市本町2-1-30 ☎ 0465-22-4128 11:00～20:00 ㊿1月1日・2日



器・生活道具 日和

靴を脱ぎ、一段上がった店内は日本全国から収集した器、ガラスコップ、箸置きなどが並んでいます。日本の古き良きものをもっと取り入れてほしいという店主の思いが伝わる和空間には竹細工のかごや湯河原の型染なども陳列されており、どこかぬくもりを感じます。(I)
☎ 小田原市浜町3-1-22 ☎ 0465-22-0226 11:00～17:30 ㊿毎週木曜日



大手門跡に設置された鐘楼

小田原の「時の鐘」は300年以上の歴史があります。今の「時の鐘」は昭和28年に作られたもので、毎日朝夕の6時には9つほどの鐘の音が小田原の街に鳴り響き、時を教えてくれます。あまりに時刻が正確なので地元の人でも機械仕掛けだと思っている人が少なくないようですが、定刻になると人が鐘をつきに現れます。(I)



脇本陣古清水旅館資料館

惜しまれつつ6年前に店じまいした旧本陣脇本陣合同古清水旅館跡に資料館が作られました。資料館は跡地に建ったマンションの2階に設置されているため、旧東海道を歩く人も気づかずに通り過ぎてしまう穴場スポットです。狭い展示スペースながらも貴重な品々を見学でき、貴重なお話を聞けて、旧東海道マニアなら思い出になること間違いありません。受付はマンションの1階です。管理人さんが案内してくれます。
無料 ☎ 080-5908-1764 ㊿毎週水曜日
※管理人さんがいる時は案内してくれますが事前連絡したほうが安心です。